

アルヴィル・シュタインローゼ(愛称:アル)

エルフ族の王家系統の少女。

見識を拓げるため、変化の速い人間の世界にホームステイに来ている…  
はずだが、本当の目的は自分の性愛玩具に適した人間を見つけること。  
ホームステイ先の少女・葵がふたなりであることを見抜き、即座に手籠めに  
してしまった。

実は葵の母親は自分の「父親」であり、葵の「父親」はアルの母親である。

身長 139cm

勃起ペニスサイズ 20cm・剥けている



葵

人間の少女…だが実はハーフエルフ。

ホームステイに来たアルにふたなりであることを見抜かれ、  
即日性奴に墮とされてしまった。

身長 160cm

勃起ペニスサイズ 9.5cm・包茎

エルフ族の掟

- ・自分よりペニスサイズの大きい者には絶対服従
- ・12歳を過ぎて包茎ペニスであることが判明した者は性奴隷として扱う

のう葵よ。  
我が国に来てみる気はないかえ？  
そう、留学。留学じゃ。

我が母にも葵を紹介したいのじゃ  
「これが女の全ての穴を貴女の娘に  
捧げた性奴隷・葵です」  
とな。

母の前でそなたを犯して、  
この粗末なペニスがだらしなく  
射精する様を母にも、家来たちにも  
見せたいのじゃ。

そんな…  
そんなの無理よお…

そうか？  
そなたの雌穴も  
そなたのペニスも  
どうもそうは言っておらぬぞ？

皆の前での射精に期待して  
武者震いしておるようじゃ。  
わらわのをキュウギエウと  
締め付けてきよる。

ほれ  
返事はペニスでせい。  
留学したくば子宮を小突かれて  
射精して見せい。

ああっ



お母さんがあっさり許してくれたね。私、海外って初めて!!

ふふ  
そなたの事は  
国費として扱う様  
連絡済みじゃ  
期待して良いぞ。

すっごい!!  
私、超期待しちゃう!!

(アルだったら、ベッドではあんな事言ってたけど  
流石に冗談だったのね)

最近 包茎のくせに  
普通のエルフとして  
入国しようと  
する輩が多くな

ちよっとお嬢さん。  
入国検査をちゃんと  
受けなさいな

さあさっさと服を  
脱げいっ

え!?!  
なに!?!  
何なの!?!

なに、お嬢さん。  
ちよっとペニスを見  
せてくれれば  
それで良いんですよ。

この者等は  
入管の者じゃ。  
国費と言えど入国検査は  
免れん。  
大人しく従うのじゃ。

やああ  
服脱がさないとっ  
何で服を脱ぐ必要が  
あるの!?!

やだあ!!  
ダメなの!!  
見えてはダメ!!

ほう：おやおお。  
アル様のお客様と  
伺っていましたが  
このペニスは一体全体  
どうしたことですかな...?

アル様、困りますよア  
この様なペニスの者を  
客人とし迎え入れるなどは。

奴隷輸入も世の流れとして  
絶えて久しい昨今ですが、  
手続きとして必要な事は  
させて頂かねばなりません。

ふふふ  
仕方ないのう  
よろしく頼むぞ？

ははっ

ニヤニヤとほくそ笑む  
アルと入国管理官の表情を見て  
流石の私も嵌められたことに  
気付きました...

エルフ族が外から奴隷を迎えるときは、  
奴隷を全裸に剥いて枷で拘束し、  
ペニスを隠せない様にしてから  
人通りの多い通りを通ってじっくりと  
国民に奴隷ペニスを晒して歩くそうです。

こうすることで、ペニスが包茎であることを  
隠したまま、奴隷とならずに生活することを  
防ぐ意味合いがあるそうです。

つまり、私は今、  
勃起しても包皮が剥けないペニスで  
あることを、エルフの国の全での人に  
知らせながら歩いているのです。

こんな儀式をされてしまったのはもうダメです...  
私はこの国の何処に行っても、  
包茎ペニスを持つ性奴隷だということが  
判ってしまいう様にされてしまったのです...

私のペニスは、市中を引き回されている間  
ずっと固く勃起したままでした。  
ペニスは悲しげに首を振りながら  
自らの身分の転落への絶望と  
見られていることに昂ぶる感情で  
透明な涙を流し続けていました...

お母様  
アルヴィルが  
たまたま戻りました。

うむ、久しいのアルヴィル。  
そちらが例の。

はい  
人間の世界で我がものとして  
持ち帰って参りました。

天晴れである。  
名は何という？

葵と申します。

ほう…  
葵、とな…？

お母様  
気付かれましたか？

この性奴  
お母様の娘でございますよ。

なんと!!  
あのときの子か!!

はは…  
まだ白々しい



葵はこんなにカワイイベニスのくせに、  
包皮を剥かれて亀頭を見られるのを  
何よりも恥ずかしがるのですよ。

(えっ  
もしかして…  
いやっ!!  
ヤダっ!!)

それはまた  
可笑しなコンプレックスよの。  
そのようなこと、まさか教えるだけで  
済みますのではあるまい？

はいお母様。  
今まで「カワを剥く」ことを  
脅しに、様々な要求を飲ませ  
調教してきた葵ですが、  
実は私も一度も葵のカワを  
剥いたことがないのです。

カワを剥くときは是非  
お母様と一緒に中を眺めて  
やろう、そう思いながら  
帰国したのです。

ほ!  
初物であるか。  
これは見物じやのう!

さあ、葵。  
今までは許してきてあげたけど、  
今日は無理なの。  
今日は、貴女が

いやだ…  
いやだ…  
カワ剥くのだけは…

私の大事なところ  
晒さないでえ…



ほらッ  
ムケちゃいなさい!!

ついにカワを剥かれて……  
私の中を……見られてしまいました……

ああッ

アルも……アルのお母さんも……  
居並ぶ家来の人達も……  
皆が私の包皮が剥かれるところと……

包皮の中の亀頭の肉と……  
亀頭のカリと……

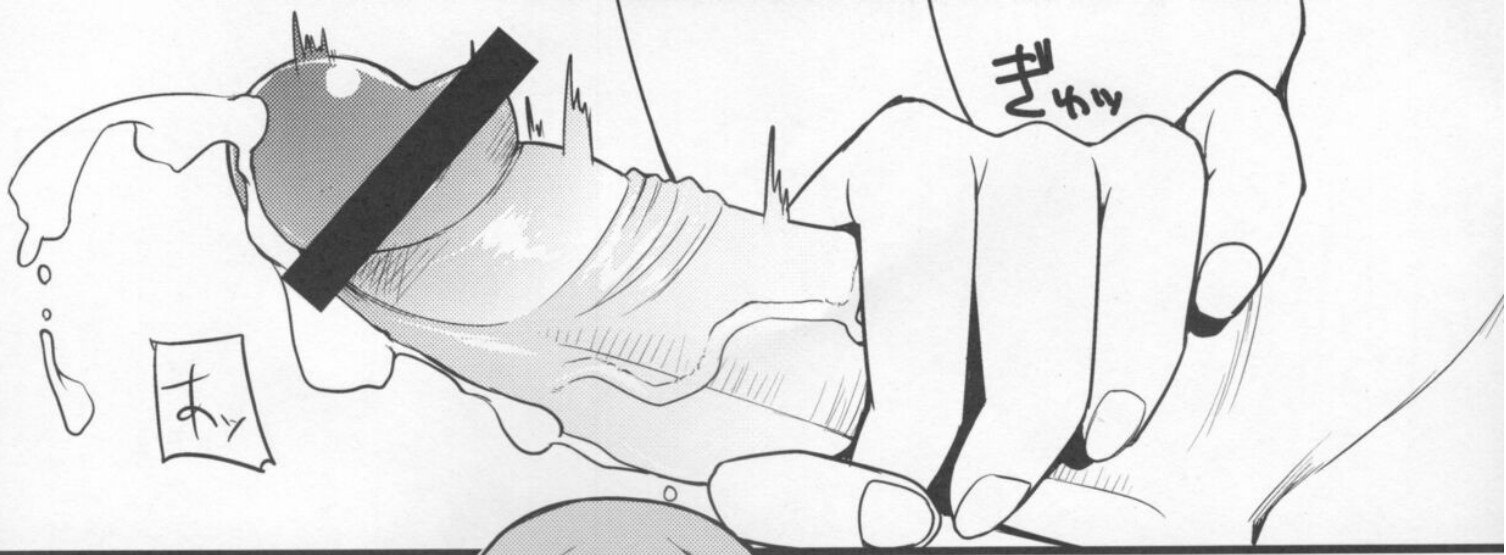
一番恥ずかしい肉を  
見られただけで射精してしまった  
私のペニスとを……

ニヤニヤと笑いながら  
見ていました……

カワの中を見られている……  
そう考えただけで……  
私の腰は独りでに震えだし……  
虚空に何かって精をほとぼしらせ  
始めました……

ニヤニヤ

ニヤニヤ



葵よ  
見事な射精であった。  
露出の快楽だけで射精できるとは  
性奴としてかなり期待できるぞよ。

ああ…そんな…  
性奴だなんて…

フム  
まだ多少反抗的なところが  
残っているようじゃな  
それも魅力的ではあるが、  
まずはペニスサイズの序列を  
今一度確認しておいて  
貰おうか。

しかもこの乳房の大きさときたら！  
この乳房はペニスを挟むために  
育ててきたに違いあるまい？

違います…  
私のおっぱい…  
そんな目で見ないでえ…  
私のおっぱいは性器じゃ  
ないよう…

そう言うとお母さんは  
アルのお母さんは  
私とアルのペニスを挿んで  
自分のペニスと引き寄せ  
そのサイズ差を見せつけて  
来ました！

だめ…  
こんなペニス見せられたら…  
私、逆らえないよう…

さてアルよ。  
良いものを見せて貰った  
ばかりで悪いのじゃが、  
妾は外遊に行かねばならなく  
なったのじゃ。

母が居ない間、  
一人で奴隷調教  
できるな？

その日から、私は枷に繋がれたまま、  
エルラの性奴隷としての厳しい調教が  
始まりました。

エルラの刑罰で使う  
「包皮伸展器」をペニスに  
取り付けられ、包皮を更に  
育てる調教の恥ずかしさに  
ペニスからも、膣からも  
涙を流してしまいます…。

首枷を天井から吊られました。  
今日はここで一日、精液処理用の  
穴として、膣と肛門を晒します…。

私を「使った」人は、  
使った穴の周りに使用回数を  
表す印を書いていきます。

こうすることで  
私が精液処理穴として、  
ペニス用品として、  
性処理をする道具として、  
何回使われたのかが  
正確に分かるのです…。

「数え切れないほどだなんて  
表現は生やさしいです。  
数字は残酷です。」

先週のこの調教では、  
おま〇〇に67回、  
肛門に83回  
注ぎ込まれました。

最近、私のおっぱいと  
ペニスを眺めながら、挿入はせずに  
オナニーをし、私の乳房に射精していく人が  
出てきています…。  
私のおっぱい…本当に性器にされちゃったよ…。



今日は吊られる位置が  
低いです。  
これはお口も使えるように  
という配慮です…。

私…口まで…  
口までおま〇こにされちゃい  
ました…。

アルう…  
アルのペニスう…



他のエルフ性奴との  
合同調教です。

皆、家畜のように  
四つん這いにさせられ、  
並んで後ろから責め立てられます。

私も、他の奴隷も、  
何度も何度もシーツの上に  
射精します。

オ  
シ

さあアルや、  
調教の成果  
見せてたもれ。

はいお母様。

さあ葵、  
お母様に貴女の身体を  
お見せするのよ。

ほっほう…  
アルよ、なかなかやるな？

私の恥ずかしい身体…  
見て下さい…

言われんでもようく  
見えるぞよ。  
相変わらず可愛らしい  
ペニスよのう？  
また剥いてやろうかえ？

私の身体は数ヶ月の調教で  
作り替えられてしまいました。  
乳房はより良い性器として  
使えるよう肥大を促進され、  
Hカップにまでなりました。

この大きなおっぱいを支える  
イヤらしい形のブラジャーは  
私の身体が性奴隷であることを  
見事に強調しています。  
乳房の先で悲しく震える乳首も  
直径2.5cmまで肥大し、  
責めの起点とするためのピアスを  
付けられました。

ああ…ひどいです…  
ペニスの皮を剥くことだけは  
堪忍してください…

調教の間も一度も剥かれて  
いないんです…  
あんな残酷なことだけは、  
もう…

残酷。  
残酷か…

葵よ  
今ならおぬしのその感情、  
そしてあの快感、  
妾にも判るぞよ。

え…？

ラビニアも重りをぶら下げられ、  
引つ張ると5cmまで伸びるよう  
に  
されました。

肛門には、ネコの尻尾のついた  
アナルパールが何個も挿入され  
私は排泄感すら性感に置き換え  
られてしまいました…

妾の外遊な。  
おぬしの家に行っておったのだ。

娘のしでかした不始末の責任をとってな。

おぬしの母にこんな身体にして貰うてきたわ。

おっお母様っ!!

アルよ。世の中にはな。やっではならんことがあるのじゃ。

この身体はな。それが判らない娘を育ててしまった自分への戒めじゃ。

葵の母の調教はな、本当に厳しく、そして悦楽に満ち満ちたものじゃった…。

そこには、巨根を誇り、威厳を誇ったエルフの女王の身体はもうありませんでした。

あの、エルフの国の誰よりも立派だったペニスには、今や伸びきった包皮に亀頭を包まれた、奴隷ペニスになっていました…。



遅れてエルフの国は  
やってきたお母さんが  
アルを犯しています。

私はアルのお母さんに  
犯されています。

近い将来、  
私はエルフの子を孕むでしょう。  
その日が来ることを想像するだけで  
背筋はゾクゾクとしたものが走ります。



調教は続く…。

エルフは  
白いもの  
出しすぎると  
ダークエルフに  
なるのよ

大丈夫、  
白いのを  
注ぎ込めば  
白く戻るから



1年ぶりです。鈴木志奈です。

昼のお仕事がどうにかなくなってしまいそうな忙しきで、全然ふたなりマンガをかく時間が取れなくなっていました。

今回も委員長ものの続きを描こうと考えていたのですが、気が変わりまして、昔「ふたなりっ娘LOVE10」に載せて頂いたエルフの話を描いてみました。この話は、最後のコマの前に挟まる話になります。

ふたなりっ娘LOVE10を読んでいない方、読んだけど忘れちゃったよ、という方にちょっとだけ補足をしますと、

葵=アルの母(ふたなり)×葵の母(ふたなり)→葵の母が出産  
アル=葵の母(ふたなり)×アルの母(ふたなり)→アルの母が出産

です。つまり葵とアルとは姉妹の関係です。

ふたなりエルフの妹による姉調教！

そそる…！

エルフの国って飛行機でいけるところにあるんですかね？ ちょっとしまむら行ってくる。

年内にもう一篇ぐらい描けたら良いなあ、と思っています。  
ではまた。

## エルフの国への留学紀

発行：**紺色ミルク色**

発行日：2011年5月3日(ふたけっと7)

印刷：有限会社ねこのしっぽ

著者：鈴木志奈

連絡先：Shina.Suzuki@gmail.com

Copyright © 2011 Suzuki Shina/Koniro-Milkiro All Rights Reserved.  
本書の無断複製・複写・ネットワークを含む転載を禁じます。

NARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI



★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI ELF ★ FUTANARI